

第 1 回	<p>1. 実習施設は、乳児院、児童養護施設、障害児施設等の児童福祉施設のうち、大学が実習施設として指定する施設とする。なお、実習先は学生の希望を踏まえ、大学側で決定する。</p> <p>2. 実習期間は 10 日間とし、原則として 8 月～10 月の間に実施する。</p> <p>3. 実習の目的、実習内容および実習に臨むにあたって必要となる書類の作成や諸手続き、事前学習、実習後の課題などについては「保育実習指導Ⅲ」の授業で説明する。</p> <p>4. 実習期間中は巡回指導、実習後の振り返りは個別指導を行う。</p> <p>※実習の準備状況（事前学習、健康状態など）によっては、実習を履修できない場合もある。また、実習開始後も実習生として不適切な行動があった場合は実習を取りやめにする可能性がある。その他、実習の履修要件については、キャンパスライフの「保育実習の履修要件」をよく読んでおくこと。</p>
テキスト	新 基本保育シリーズ 20 「保育実習」 公益財団法人 児童育成協会監修 中央法規出版
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	事前学習の状態に応じて、保育実習指導Ⅲの授業の中で適宜紹介します
課題に対するフィードバックの方法	実習日誌の記述に関するフィードバックは、実習巡回指導時のスーパービジョンと実習終了後のスーパービジョンにおいて行います。
学生へのメッセージ・コメント	<p>実習施設の役割と機能に関する知識、子ども・利用者の特性やニーズを理解するための知識と対人援助技術・保育技術が必要となります。</p> <p>実習中の気づきや学びはメモに残しておきましょう。関連する科目の復習を丁寧に行い、実習に必要な知識を身につけましょう。</p>